

私の視察したる米國の幼稚園教育

(シカゴの卷)

堀 七 藏

一、

シカゴ大學の附屬幼稚園を參觀すると驚くことがあります。シカゴ大學はニューヨークのロンピヤ大學と併稱せられる位で、米國第一流の大學であります。このシカゴ大學にも師範大學部があり、それに附屬した練習學校研究學校があります。そしてこの附屬幼稚園はロンピヤ大學のホルスマンスクールの幼稚園同様、至極特色のあるものであります。ホルスマンスクールの幼稚園は大きな保育室が一つあつて比較的立派に見えますが、このシカゴ大學の附屬幼稚園の保育室は「これは、これは」と驚く位雜然たるものであります。殆ど保育室と思はれない位に積木で妙なものが出来てゐます。大體にこの幼稚園の建物は小學校やハイスクールの本館とは別な感のする所に三室ばかりあります。小學校から入つた広い室が保育室であります。壁際一面にいろ／＼のものが出来てゐて幼兒の作業するところは著しく狭くなつてゐます。この保育室の隣は著しく狭いがピアノがあつて幼兒が唱歌をしてゐます。その隣が保母室であり、いろ／＼の事務室といつたものであります。この幼稚園の前庭は廣く、またシカ

ゴ大學校庭から引續いて廣いワシントン公園がありますから、この幼稚園ではそれ等を十分利用することが出来るのであります。

二

シカゴ大學の教授法の教授たるパーカー氏は幼稚園と小學校一年生との融合統一せる教育を主張して居りますからこの幼稚園が著しく他の幼稚園と異なる原因があるのであります。従來の如く幼稚園は幼稚園、小學校は小學校と獨立無關係であるべきものでないのであります。また幼稚園で小學校の課業を學習させるために小學校の一年生の教師が大變に困るといふが如きことも面白くないことであります。幼稚園で小學校一學年の學習をさせることも幼稚園本來の精神ではありませんか、幼稚園から來たものと家庭から直接小學校に入學したものと程度が異なるから學級教授をなす一年生の教師は大變に困るといふ理由で幼稚園に反對することも間違つた意見であります。幼稚園の幼兒にも身體精神の發達程度が著しく相違してゐるものがありますから個人差に即した保育をなせば、一年生の課業を學習した以上の能力を有し發達したものが出来るのは當然であります。それを小學校で學級教授を行ふ便宜上皆一様な程度に保つため個人差を成るべく減却するやうな注文をなし、幼稚園保育を排斥するが如きことも甚だ偏狹でありませう。パーカー氏などの主張では、

A、幼稚園の作業には第一學年まで擴張せねばならぬものがあること。

B、第一學年の作業を幼稚園の方へ擴張すべきものが多いこと。

C、それでこの幼稚園と第一學年とを融合統一してこの時代の幼児の精神年齢に適應した教育をなすことが甚だ重要であるといふのであります。近時我が國でも低學年教育の研究を主として高唱してゐる人々がありますが、兎に角小學校の低學年と幼稚園との間に大なる溝を穿ち、兩者が全然無關係であることも改善せねばなりません。また幼稚園を全く小學校と同様になすことも幼児の精神發達上大なる無理があるので十分考慮せねばなりません。今日幼稚園保育の長所を一學年教育に取入れることが肝要と同時に小學校第一學年に於て行ふ文字を書くこと、讀むことまた數觀念を養成することなどは適當な方法で幼稚園時代から着手すべきものであります。幼稚園に於て幼児が生活の必要上起る數へること、字を讀むことなどを無理に小學校の課業であるとして幼稚園では教へないといふが如き頑固な考は打破せねばなりません。ターマンの學校兒童の知能検査の結果によると次の表に示す如くであるといふのであります。この表によると幼稚園幼兒百十二人、一學年兒童百四十九人の精神年齢を測定して示したもので、滿年月を以てしたものであります。

精神年齢		幼稚園		第一學年	
年	月	年	月	年	月
三	〇—三	三	五	—	—
三	六—三	一	二	—	—

四	〇一四	五	一一	九
四	六一四	一一	二四	一七
五	〇一五	五	一七	一四
五	六一五	一一	一七	一七
六	〇一六	五	一九	二一
六	六一六	一一	一六	三〇
七	〇一七	五	二	二六
七	六一七	一一	一	六
八	〇一八	五	一	四
八	六一八	一一	一	二
九	〇一九	五	一	〇
九	六以上		一	三
合計			一一二	一四九

この表を見ると幼稚園幼児にても精神年齢が満六年以上のものが三八人もあるものであり、一學年の兒童にても精神年齢が六年以下のものが五十七人もあるものであります。従つて普通の年齢によつて幼稚園

と一學年とを截然區別するよりも幼稚園と一學年との課業を融合統一して各幼兒に適應した教育教授となすべきことは明白でありませう。

三

而して低學年教育の目的を次の如く考へるのであります。

(1)、健全なること。(2)ひまな時間を無害に樂しむこと。(3)善良なる性情。(4)社會的奉仕。

(a)職業的の奉仕。(b)、家庭奉仕。(c)、文化奉仕。(d)、博愛的奉仕。

是等の能力を得しむることを教育の目的となすのであります。是等の目的を達成する爲に幼稚園と一學年とを融合した低學年に於ける課程を大體分けると次の五事項に亘らねばならぬと主張してゐます。

(1)、五つの本質的な社會的技能、即ち話し方、讀方、算術、書くこと、綴ること。

(2)、休養的作業、即ち唱歌、遊技及び競技、お伽噺自然研究や圖畫の如き作業。

(3)、社會生活の研究、これには家庭並に近隣との生活、都市や國家との生活、原始人の生活に織込んで研究させるのであるが自然研究などが理解させるために役立つことは勿論である。

(4)、保健法、榮養に注意し、休養的作業、社會生活等より來る事項を含む。

(5)、文化的道德的な觀念並に習慣、自制、敏速、自助等の精神を含む。

四

是等の課程を多少詳細に解説すると次の如くであります。

1. Five essential social skills

a、語學的發表。言語發表の機會は幼稚園にも一學年にも甚だ多い。幼兒が家庭から持參した玩具、その他のものにつき話すこと、クリスマスにデパートメントストアに行つた時のことを話すこと、土曜日、日曜日にあつたことを話すことなどはその主要なものであります。

d、讀方。幼稚園時代の幼兒でも精神年齢六年に達せるものは讀方を學習することが出來ますから簡單なる讀物を讀ませることが必要であります。

e、算術。幼兒でも生活の必要から數觀念は次第に發達し、一年の終りには簡單な算術をなし得るものであるから適當なる材料を與へて適當に指導せねばならぬことは申すまでもありません。

d、書き方。七歳以下の幼兒でも文字を書くことを好むものであるから彼等の必要とする程度に文字を教へ書くことを練習させるがよいのであります。

e、綴ること。單語を文字で組立てさせること位は行はせるがよいのであります。

二、Recreational activities。これを休養的作業と譯することは適切でないかも知れないが他によい譯語がないから暫くこれで満足するといたしませう。その内容には遊技と競技、唱歌、お伽噺、美の鑑賞自然觀察等を含ませるのであります。いろ／＼の遊技が休養的作業なることは勿論であるが花箱、花壇、

秋の紅葉等を觀て楽しむことや鳥類、草花、樹木等を分類したり栽培飼育することも趣味的休養的作業でありませう。

三、The study social life

家庭や地方團體の生活や都市や國家生活を研究させるのであります。しかし近きより遠きに、簡より繁に、原始的より文化的に及ぶ方針に従ふべきもので是等の生活様式を幼稚園・低學年生活の間に學習させるのであります。故に幼兒は、八百屋に乾物屋に、停車場に郵便局に實際行つて見學し來り、之を遊びの間に模倣し表現するのであります。第一學年になるとアメリカインディアンの原始生活の研究に進むのであります。この二學年間に於て自然研究の或題材、例へば植物の成長、雞が雛を孵化し飼育する有様の觀察は社會生活の研究に重要な理解を與へるものであります。

先づどの幼兒でも好んで行ふまゝごと遊を發展させて八百屋遊に移ります。男兒が八百屋を積木で造り、いろ／＼の粘土細工によつて出來た野菜果物を陳列し、茲に八百屋の主人が出來、お客が買ひに來るといふ場面が出來上がります。是等は一日毎に取片附けられるのではない、半年も一年も保育室にその儘に保存せられるのであるから前に述べた保育室がいろ／＼の社會生活の場面で雜然たること驚くべきものとなるのであります。八百屋から肉屋、それから町通り、郵便局、病院、教會等いろ／＼のものが積木や厚紙で出來幼兒が背景を描き、いろ／＼の必需品を製作し店の名稱等必要なる文字も幼兒はそ

の間に學びいろ／＼の生活作業を實演するといふ有様であります。是等は教師保姆のヒントで幼兒が一切活動し必要に應じて保姆と共に見學に出かけいろ／＼の觀察をなしそれを表現するのであります。勿論幼兒は必要に應じて教師に質問をなすから教師は幼兒の理解し得る程度の説明をなすのであるが、凡て自學自習の根本原理によつたものであり生活作業を實演することによつて生活様式を理解するものがあります、それで社會生活に必要な知識技能を收得させることは勿論社會生活をなすに必要な徳性の涵養をするので所謂生活を通して必要な學習も訓練をも行ふものであります。

それでシカゴ大學附屬小學校幼稚園で實施せるツシアルラインの研究の課程表を示すと大要左の如くであります。

幼稚園

一、十月より十二月

1、ホームに於ける家族の生活

(a)、寢眠、食事のため家庭の整頓裝飾と家庭生活

(b)、家庭生活に必要な作業、室内の整頓、衣服の整理、食事の準備

2、食物の源

(a)、食品を購入するマーケット

b)、果物、野菜、穀物、卵、乳等を産出する農園

3、季節的作業娯樂

(a)、冬のため食品の保存

(b)、冬咲く球根の栽培

(c)、秋の木葉、果物種子を集めること、是等を裝飾に使用すること。

(d)、保育室にて金魚などの如き動物を飼育すること。

(e)、萬聖節(十一月一日)を祝すること。

(f)、謝恩日(毎年十一月の最終木曜日に神に謝する爲に行ふ)の準備。

(g)、クリスマスの準備　サンタークロイス、玩具店、クリスマスの贈物をつくること。クリスマス

スツと裝飾

二、一月より三月

1、地方團體の生活

(a)、異なる家族のホーム、ハウス、アパートメント、ホテル。

(b)、家族の必需品を供給するいろいろの商店

(c)、學校、教會、消防署、車庫、停車場等と是等が團體生活に及ぼす役目

(d)、町、街路、街燈、交通信號、交通の様式、巡査等と是等が團體生活に及ぼす作用

2、季節的作業娛樂

(a)、冬季に於ける戶外遊戯

(b)、夏日と比較し冬の日の晝の長さの觀測

(c)、聖ヴァレンタイン節(二月十四日)を祝すること。

(d)、室内植物の世話

三、四月より六月

1、家庭並に團體に於ける必要な仕事

(a)、春夏の服裝準備

(b)、家屋掃除

(c)、花壇の手入

2、季節的作業娛樂

(a)、獨樂、彈玉、瓜を以ての戶外遊び

(b)、季節の變化を觀察し享樂するための遠足

(c)、雛を育てること

(d)、復活祭(基督の復活を記念する祭禮、三月廿一日以後の満月に次ぐ第一日曜日に行ふ)

メーデー(五月一日の祝日)を祝すること。

(e)、學校の春の祝日に參加すること。

第一 學年

一、十月より十二月

1、序、幼稚園と比較した一年の教室、教室にて爲すべき事項、必要なるものをつくること。植物動物の栽培飼育、室内の整理、お話、競技、唱歌、讀むべきものなどの豫定

2、農園に於ける生活

(a)、農夫の家屋と家族

(b)、農夫の仕事、特に果物、野菜穀物の收穫、農場動物の世話

(c)、水車屋、パンヤの仕事

3、季節的作業娛樂

(a)、學校園に生産するもの、收穫と使用

(b)、種子の採集、翌春まで保存

(c)、秋の紅葉木實などを採集し室内裝飾をなすこと

(d)、球根を室内又は花壇に栽培すること

(e)、謝恩祭、クリスマススを祝すること。

二、一月より三月

1、町や市に於ける農産物市場

(a)、車で町に送ること。

(b)、汽車や汽船で市に送ること。

(c)、市に於て農産物の貯蔵配達、ドック、航空格納庫、小賣市場に輸送すること。

2、小さな町と大きな市との對照、花壇飼育場ある家屋、學校、教會、郵便局、汽車の停車場、倉庫等、農園と小さな町との關係

3、季節的娛樂

(a)、氷滑り、橇、雪遊び

(d)、教室に於ける動物飼育

(c)、室内植物の世話

(d)、聖ツアレンティン日を祝すること。

三、四月より六月

1、都市に於ける團體生活に必要なこと。

(a)、團體の保健衛生設備、交通規則、街路の掃除、消防設備等

(b)、公園又は運動場

(c)、公立圖書館

2、季節的娛樂

(a)、家庭及學校に於ける園藝

(b)、小鳥を観察する爲の遠足

(c)、玩具を使用しての戶外遊び

(d)、復活祭、メーデーを認めること

(e)、學校の春の祝日に參加すること。

以上の課程はシカゴ大學で實施したものであるが是等は地方々々によつて異なるべきこと勿論であると特に注意してゐるのであります。

尙ほ保健法や徳性涵養の方法につきパーカー氏は實際案を説明して居りますが茲には是等を省略することにいたしません。兎に角このシカゴ大學の附屬幼稚園は確かに特色のあるものであります。幼稚園といつても主として一ヶ年の保育でそれが小學一年と融合せられ所謂低學年教育として教育を下に延長することを研究し實施してゐるものであります。義務教育年限延長といへば七年八年と上のみ延長することをのみ考量せず幼稚園の方に一年位延長することが現下の我國に於ては寧ろ重要なことでありませう。尤も是等は十分研究した上でなくてはなりません。